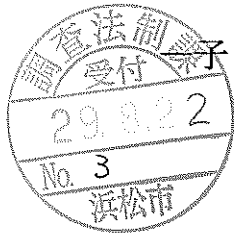


## 「浜松市の豊かな保育施策」を求める陳情書



子どもたちの健やかな成長と希望ある子育てのために—

団体名 浜松市保育団体連絡会  
所在地 浜松市中区上島2-13-35  
代表者 野島 和樹

### 陳情趣旨

どんな地域どんな家庭に生まれても、すべての子どもたちは幸せに生きる権利があります。国や市町の宝である今を生きる子どもたちを、豊かに育てることは私たち大人の責任であり、よりよい保育を次世代の子どもたちに残していくことは、社会の責任です。

浜松市の待機児対策は保育施設等の増設や増員などの施策により、待機児童数が昨年度の214名よりさらに減少し168名となりました。しかし、0, 1, 2歳の待機児童は依然として数多く存在します。

今後も浜松市の「待機児童対策」が力強く前進し、国が目指す2020年に待機児童数0人を実現するには、施設整備と共に保育士の確保が急務です。

「子は授かりもの」という言葉通り、市民が安心して子どもを産み、ワークライフバランスを保ちながら生活するために、どんな保育施設等に入所しても十分な質の保育が受けられ「子育てしやすい浜松」になりますよう、以下の点について陳情いたします。

### 陳情項目

#### 1. 「年度途中入所サポート事業」を実施してください。

0～2歳児の入所時期を保障し、保護者のワークライフバランスの実現を目指すため「年度途中入所サポート事業」を浜松市でも実施してください。

#### 【現状】

既存の「予備保育士補助金」は、保育士を確保し出張・研修、年休・公休の保障や休憩時間の補充などに充てています。そのため、年度途中入所児童（以下：途中入所）の対応は大変厳しい状況にあります。

また、市内の保育士不足は深刻で、特に年度途中の採用は困難を極めています。保育士を確保し、途中入所を受け入れられるようにするには、年度当初より保育士を確保することが不可欠です。

#### 【年度途中入所サポート事業とは】

年度途中に入所する0～2歳児に対応するための保育士を、年度当初から配置する保育施設等の支援をする事業です。

現在、県内では静岡市と静岡県では実施しています。